



熊本市 の水 水道



天然水が自慢、 水の都くまもと

夏はひんやり、冬はあたたか。阿蘇の豊かな自然が、私たちにもたらす恵みが、熊本市の清冽な湧水です。火山灰や溶岩が堆積した阿蘇から連なる地層が自然のフィルターとなって、地下を流れる水をろ過。地下水がたっぷりと時間をかけて、ミネラルや炭酸ガスを含んだ良質の水へと変わっていきます。

水道水源の全てを地下水で賄う熊本市。これは人口50万人以上の都市としては日本唯一、世界でも稀少な都市となっています。

平成25年3月には地下水保全の取り組みが世界で高く評価され、「国連“生命の水”最優秀賞」を受賞しました。



熊本市上下水道局シンボルマーク

オレンジは、燦々(さんさん)と輝く南国の太陽。水色は、豊かな白川や緑川の流れと熊本のKを象徴。青色は、渾々(こんこん)と湧きいづる地下水を表しています。

また、全体的なイメージとして、生活に欠かせない上水道を大切にする人間の躍動を表現しています。平成6年(1994年)の熊本市上水道創設70周年を記念して、募集したものです。



c o n t e n t s

- 1 + も く じ
- 2 + おいしい地下水
- 3 + 地下水の保全
- 4 + 水道事業の役割と取組
- 5 + 給水のしくみ
- 6 + 取水・配水施設
- 8 + 水質管理
- 9 + 水運用センター
- 10 + 漏水防止
- 11 + 災害対策
- 12 + 施設整備
- 14 + 経 営
- 15 + 水道料金
- 16 + 熊本市水の科学館
- 18 + 水道のあゆみ
- 20 + 広 報
- 21 + 組 織



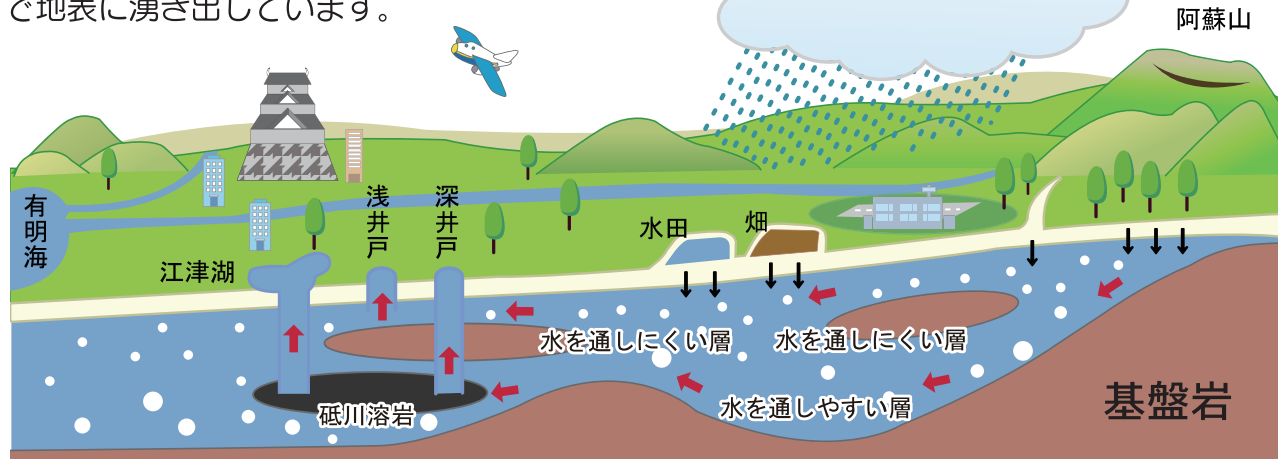
未来へ…のこす。 くまもとの おいしい地下水



九州の中央に位置し、今なお活動を続ける雄大なカルデラ火山「阿蘇山」。

その西麓に広がる地層は、数万年以上前、阿蘇山の噴火の際に噴出した火山灰や溶岩が幾重にも堆積したものです。これらの地層は、自然のフィルターの役目を果たし、清冽な地下水を生み出しています。こうした地下構造がおいしい水を作っています。

白川中流域には、地下水を蓄える巨大な地下水プールがあります。ここで蓄えられた豊富な水は、小さな穴や割れ目の多い^{とがわ}砥川溶岩と呼ばれる地層を通り、熊本市の水前寺や江津湖周辺等で地表に湧き出しています。



熊本地域の地下水かん養域は、金峰山、植木台地から阿蘇西麓に至るまで、広い範囲に及んでいます。

熊本市には八景水谷・水前寺・江津湖などに湧水があり、市民のオアシスとして親しまれています。これらの湧水は、いずれも阿蘇西麓の広大な火山性台地の末端にあります。



地下水の保全

地下水は、雨水などが地下へ浸透していく量(かん養量)と生活用水などとして汲み上げる量(採取量)のバランスの上に成り立っています。かん養量よりも採取量が多ければ地下水は「赤字状態」になり、減少してしまいます。

減少の原因としては次のようなことが考えられます。

- ① 都市化によるかん養域の減少 ② 白川中流域での農地(水田)の減少 ③ 地下水採取量の増加 など

地下水量を保全するためには、かん養量を増やすとともに、採取量を抑制しなければなりません。



家庭でできる節水方法

台所



蛇口のごまめな開け閉めで、水の使用時間を5分間短縮すると、約30%の節水

洗濯



標準使用水量が130%の洗濯機の場合、お風呂の残り湯を本洗いでなくすすぎまで活用すると55%の節水

洗面



コップ3杯での歯みがきは、3分間蛇口を開けっ放しにするより、1回で約17%の節水

風呂



シャワーのごまめな開け閉めで、水の使用時間を3分間短縮すると、約36%の節水

トイレ



2度流しをやめたり、大小レバーが付いているトイレではレバーを使いわけて節水

洗車



バケツ5杯での洗車は、20分間ホースで洗車するより、1回で約190%の節水